

♪ 2019年度 **poco a poco** ♪

Nr. 17 2019年12月4日(水)

文責:プファイル・辰巳

Schöne Adventszeit!!

12月に入り、ドイツの冬らしい寒さになりました。クリスマスまであと3週間。アドヴェント・カレンダーの窓を毎日開けたり、リースのロウソクに火を灯したり、マルクトにお出かけしたり、クッキーを焼いたり…。アドヴェント



の期間には、楽しみなことが山積みですね。寒くて暗い冬を乗り切るドイツの人たちの生活の知恵でしょうか。クリスマスやアドヴェントがなかったら、ドイツの冬は暗すぎます。

楽しい季節とはいえ、2学期の締めくくりの時期でもあります。冬休みまであと一息。長かった2学期の学習のまとめをしっかりと、元気に冬休みを迎えたいものです。

明日はミニコンサート!

月曜日にミニコンサートのプログラムを配布いたしました。出演順などチェックしていただけでしょうか。ご覧の通り、1学期よりも大幅に出演者が増えています。43組。3分の制限時間を守っていただいたとしても、すべてのプログラムを消化するには2時間以上かかる計算です。出入りなど速やかに済ませて、プログラムが滞りなく進行できるよう、ご協力をお願いします。また、終了時刻が遅くなることも、ご了承ください。帰り道が暗くなりますので、お迎えをお願いします。

出演する人も鑑賞する人も、みんな協力して、楽しいひと時を分け合いましょう。よろしくお願いします。

音楽こぼれ話 <追悼 指揮者:マリス・ヤンソンス>

ソプラノ歌手ジェシー・ノーマンに続いて、世界的な指揮者マリス・ヤンソンスの訃報が届きました。11月30日に、サント・ペテルブルクの自宅にて死去されたとのこと、76歳でした。

1943年、旧ソ連(現ラトヴィア)のリガで生まれたヤンソンスは、レニングラード音楽院でピアノやヴァイオリン、指揮の勉強をした後、ウィーンの国立音楽アカデミーに留学しました。指揮の勉強を深め、ヘルベルト・フォン・カラヤンにも師事しました。

1971年には、カラヤン国際指揮者コンクールで第2位に入賞し、プロ指揮者としてのデビューの足掛かりになりました。

1979年から約20年以上、オスロ・フィルハーモニー楽団を指揮し、世界的なレベルにまで引き上げたのも、マリス・ヤンソンスでした。オスロ・フィルと並行して、ロンドン・フィル、ピッツバーグ交響楽団、バイエルン放送交響楽団など、世界のトップオーケストラの客演指揮者としても、大活躍しました。来日したこともあります。

ヤンソンスは、2006年、2012年、2016年の3回にわたって、ウィーン・フィルのニューイヤー・コンサートの指揮者にも選ばれています。2016年のニューイヤー・コンサートで、優しい笑顔を絶やすことなく指揮していたヤンソンスの姿は、まだ記憶に新しいところです。

残念ですが、世界的な大指揮者がまた一人…心よりご冥福をお祈りします。

ちょっとだけ 演奏会情報

パパゲーノ劇場(パルメンガルテン内) 12月の演目より

「Die Schneekönigin(雪の女王)」

12月8日(日) 13:30 と 16:00 2回公演 13日(金) 16:00
14日(土) 13:30 と 16:00 2回公演
29日(日)・30日(月)・31日(火) 16:00

「Der Schwanensee(白鳥の湖)」

12月6日(金) 16:00 7日(土) 13:30 と 16:00 2回公演
15日(日)・21日(土) 13:30 と 16:00 2回公演